

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
地域史	山崎 智博	講義	2		3	5	1,2
授業概要 授業目的	三重県の近現代史を都市や地域の形成過程を中心にして見ていく。三重県内には様々な特徴を持った都市・地域が存在している。そのような都市・地域が形成されてきた歴史的背景を知ることによりそれぞれの都市や地域の特徴を理解していけるようになるだけでなく、現在抱えている様々な問題を理解していけるようになってもらいたい。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県の都市や地域の形成過程を身につける。</li> <li>・歴史的な経緯を踏まえて三重県内の都市や地域を理解し説明できるようになる。</li> </ul>						
回	学習内容						
1	三重県の近現代（オリエンテーション）						
2	明治の三重：三重県の誕生と市制町村制の施行						
3	明治の三重：鉄道の開設と三重						
4	第1次世界大戦後の三重：県内私鉄鉄道の消長と電化						
5	第1次世界大戦後の三重：都市計画法の実施と三重						
6	昭和恐慌期・戦時体制期の三重：商業の近代化と百貨店・道路交通網の整備・鉄道の建設と統廃合						
7	昭和恐慌期・戦時体制期の三重：都市計画事業の実施と戦争						
8	昭和恐慌期・戦時体制期の三重：戦時下の都市計画						
9	戦後復興期の三重：戦災と戦災復興計画						
10	戦後復興期の三重：復興期の交通						
11	高度成長期の三重：流通の近代化と商店街						
12	高度成長期の三重：鉄道交通と観光開発の進展						
13	低成長期の三重：道路交通網の整備と地域交通						
14	低成長期の三重：大型店の伸張と都市・観光						
15	三重県の近現代史まとめ、終了後に試験						
予習内容 復習内容	予習：講義中に示す文献に目を通す等。 復習：ノートやレジュメ等の見直し等。						
教科書	テキストは使用しない。 参考文献：『三重県史 近現代1』2015 『三重県史 近現代2（上）（下）』2019						
成績評価	試験（80%）、平常点（20%）で成績評価を行います。平常点は出席と小テストで評価します。 5回を超えて欠席した場合、試験の受験資格はありません。						
実務経験							
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図、写真、映像資料等を適宜使用する予定です。</li> <li>・地図、写真、映像資料等を扱うので授業の進度は調整することがあります。</li> </ul>						